

## H28 シカ年度 エゾシカ対策事業結果

### 1. 遺産地域内（環境省釧路自然環境事務所）

#### a. 知床岬

- ・ H28 年 6 月に船で岬入りし、宿泊を伴う捕獲を 1 回実施、1 頭を捕獲。H29 年 3 月にヘリコプターで岬入りし宿泊を伴う捕獲を 1 回、H28 年 5 月に船で岬入りし宿泊を伴う捕獲を 1 回、日帰り捕獲を 1 回実施。合計 4 回の捕獲作業で、H29 年 5 月末までに捕獲目標 51 頭に対して計 38 頭を捕獲。

#### b. ルサー相泊地区

- ・ ルサ川左岸の囲いわなで、H29 年 1 月～3 月に 2 頭を捕獲。
- ・ ルサ川河口周辺のくくりわなで、H29 年 1 月～3 月に 11 頭を捕獲。
- ・ 2 つの捕獲方法により、捕獲目標 20 頭に対して計 13 頭を捕獲した。
- ・ 相泊以北（クズレハマ川以北：ルサー相泊地区の北側に隣接するウナキベツ地区）の、港の無い海岸線において船舶を使用した狙撃による捕獲を H29 年 2～4 月に 9 回実施し、計 66 頭を捕獲（捕獲目標設定無し）。

#### c. 幌別-岩尾別地区

- ・ 岩尾別地区の仕切柵を囲いわなとして使用し、H29 年 1～5 月に捕獲目標 20 頭に対して計 13 頭を捕獲。
- ・ 幌別川河口の囲いわなで H29 年 1～3 月に捕獲目標 40 頭に対して計 19 頭を捕獲。
- ・ 岩尾別橋から岩尾別川河口までの約 0.6 km の通路沿線で流し猟式シャープシューティングを H29 年 2～3 月に 11 回実施し、捕獲目標 20 頭に対して計 26 頭を捕獲。
- ・ 岩尾別川河口に 2 基、幌別地区に 2 基の箱わなを設置し、H29 年 1～3 月に捕獲目標 20 頭に対して計 35 頭を捕獲。
- ・ 岩尾別地区において餌付け誘引による狙撃を H29 年 4 月に 2 回実施し、計 1 頭を捕獲（捕獲目標設定無し）。
- ・ しれとこ 100 平方メートル運動地の作業道沿線で流し猟式シャープシューティングを H29 年 5 月に 3 回実施し、計 8 頭を捕獲（捕獲目標設定無し）。
- ・ 6 つの捕獲手法により、計 102 頭を捕獲した。

### 2. 隣接地域（林野庁知床森林生態系保全センター）

#### d. 銃による個体数調整

- ・ H29 年 3 月に、斜里町遠音別において遠距離狙撃で 6 頭、モバイルカリングで捕獲目標 10 頭に対して 6 頭捕獲。

#### e. 銃器以外による個体数調整

- ・ H29 年 1～4 月に、ウトロにおいて囲いわな 4 基で捕獲目標 80 頭に対して 47 頭、遠音別において囲いわな 2 基で捕獲目標 90 頭に対して 29 頭、真鯉において囲いわな 1 基で 1 頭、箱わな 3 基で捕獲目標 10 頭に対して 10 頭捕獲。以上には職員実行を含む。
- ・ 斜里町、林野庁及び（株）知床エゾシカファームで協定を結んだ囲いわな（三段滝）では、H28 年 12 月～H29 年 4 月に 10 頭捕獲。

#### f. 狩猟

- ・ 斜里町遠音別の林道 2 路線について可猟期間中に除雪を行い、一般狩猟者による捕獲を支援。

### 3. 隣接地域（北海道・斜里町・羅臼町）

#### d. 銃による個体数調整

- ・斜里町では H28 年 6 月～H29 年 3 月にウトロ高原農地で 33 頭、H28 年 6～9 月に半島基部農地で 56 頭捕獲した。H29 年 4～5 月にウトロ高原農地で 8 頭、半島基部農地で 92 頭捕獲した。
- ・羅臼町では町有林における巻き狩りと流し猟により、H28 年 6 月に 14 頭、H29 年 1～3 月に 67 頭、計 81 頭を捕獲（羅臼町及び町鳥獣被害防止協議会）。
- ・羅臼町では、H28 年 12 月に海岸町において、麻酔銃で 1 頭捕獲。

#### e. 銃器以外による個体数調整

- ・斜里町、林野庁及び（株）知床エゾシカファームで協定を結んだ囲いわな（三段滝）では、H28 年 12 月～H29 年 4 月に 10 頭捕獲。

#### f. 狩猟（隣：北海道、林野庁）

- ・斜里町内の隣接地域において狩猟での効率的な捕獲を検討するため、可猟期間に中断期間を設定した。結果はとりまとめ中（北海道）。